



SSH通信 No.20

令和5年度 第5号 11月22日発行
千葉県立佐倉高等学校
Chiba Prefectural Sakura High School

SSH 国内サイエンスツアー(内浦山野外実習)

8月22日(火)～8月24日(木)の3日間、千葉県鴨川市の内浦山県民の森で実施され、1年生理数科36名・普通科6名の計42名が参加しました。

1日目は午前中に佐倉高校から内浦山県民の森まで移動し、到着後植物の観察をしながら歩いて(写真①)、キャンプ場付近で昼食をとりました。午後は斜面林に入り、班ごとにコドラートを作成して、樹木の座標や高さ、樹種などを確認する森林調査実習を行いました。途中雨が降り紙に記録がとれないハプニングもありましたが、各班様々な工夫をして記録を残していました。その後場所を移動し、急な斜面を登ってモミ遺存林を観察しに行きました(写真②)。宿に戻って夕食をとったあとは学習会で、午後の森林調査実習の結果を班ごとに模造紙にまとめました(写真③)。

2日目は山道を約14～15km、ひたすら歩き続けました。午前中は地学実習で、地層を観察し、触れて粒の大きさや質の違いを感じとり、スケッチの練習もしました(写真④⑤)。昼食時には妙法生寺の住職さんのご厚意で、お寺の境内を利用させていただきました。午後は生物実習で、葉の特徴の捉え方を学び、様々な葉を観察し、宿に戻ってから班ごとに教え合い学習を行いました。夕食後には地学分野の学習会で、前半は大陸から分離してできた日本列島の成り立ちや千葉県の成り立ちについて学習しました。後半は星座や惑星軌道について学習し、屋外に出て天体観測を行いました。その後は午後の生物実習で扱った約20種類の葉っぱに関するテストが行われました。

3日目は安房小湊駅の近くの千葉大学海洋バイオシステム研究センターへ行きました。千葉大学や地元漁協の許可を得て、研究用の海岸エリアへ入っていただきました。午前から昼過ぎにかけて、岩礁水棲生物の観察、潮の満ち引きの仕組みの学習、岸壁の地層の観察などを行いました(写真⑥)。昼食後はバスに乗り、佐倉高校へ戻ってサイエンスツアーが終了しました。長い距離を歩き、山や崖を登り、とても体力を使うツアーでしたが、本や教科書を読んでいるだけでは味わえない体験や、様々な発見のある刺激的な3日間となりました。



↑写真① ↓写真②



↑写真③ ↓写真④



↑写真⑥

SSH 活動掲示板は

こちら→



これまでの SSH 通信は

こちら→



↑写真⑤